

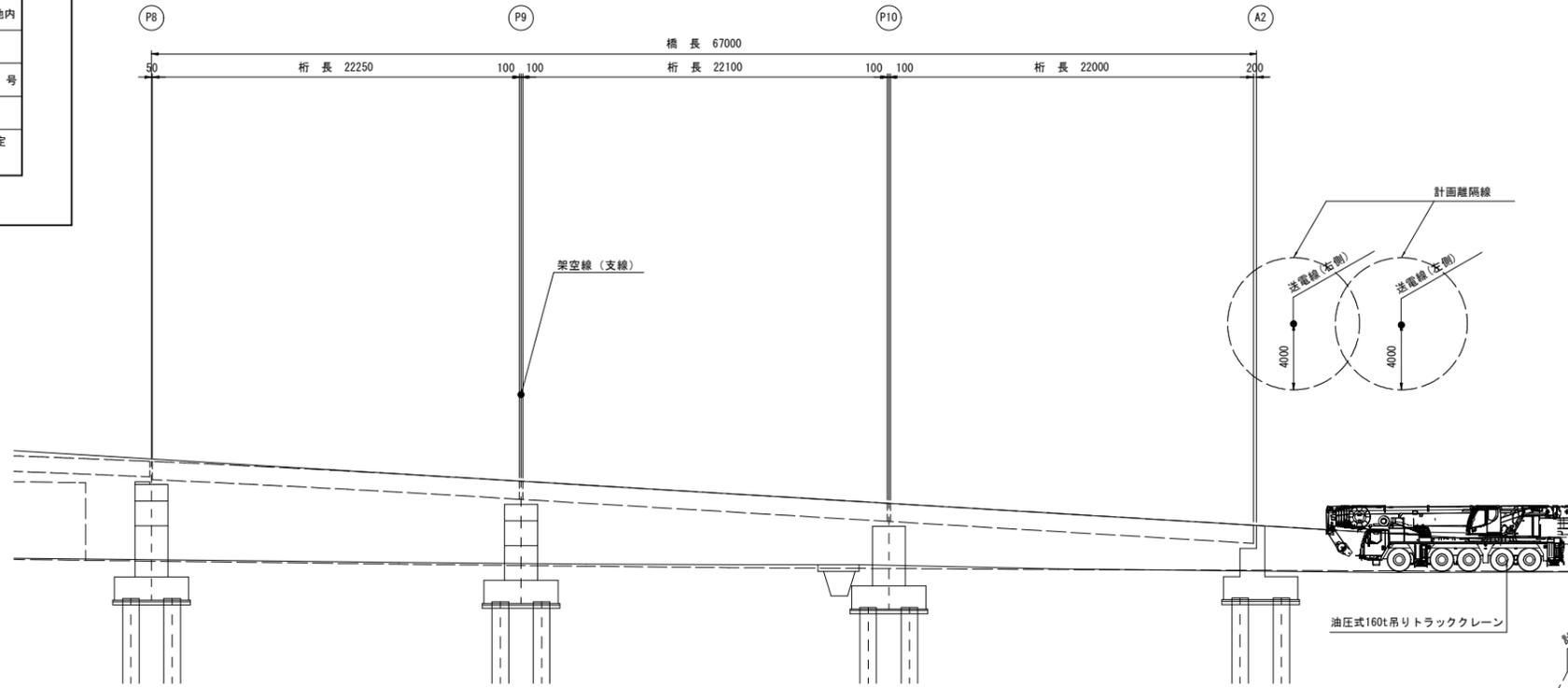
参考図

工事年度	令和7年度	第81998-003号	工区
工事名	(都)久留米駅南町線JR路線橋梁上部工工事(3工区)		
路線名	都市計画道路	地区	橋
河川	久留米駅南町	新	
工事箇所	久留米	西	大字
図面名	P9-A2径間 架設要領図		
縮尺	1:200	図面番号	全案之内
事務所名	福岡県久留米県土整備事務所		
認可	当	初	査
可	第	回	定
	更	更	

施工着手前には送電線管理者と協議を行うこと。  
 施工時は送電線との離隔4mを確保すること。  
 アウトリガーは函渠工を避けた位置とすること。

P9-A2径間 架設要領図  
 (昼間 クレーン待機時配置)

側面図 S=1:200

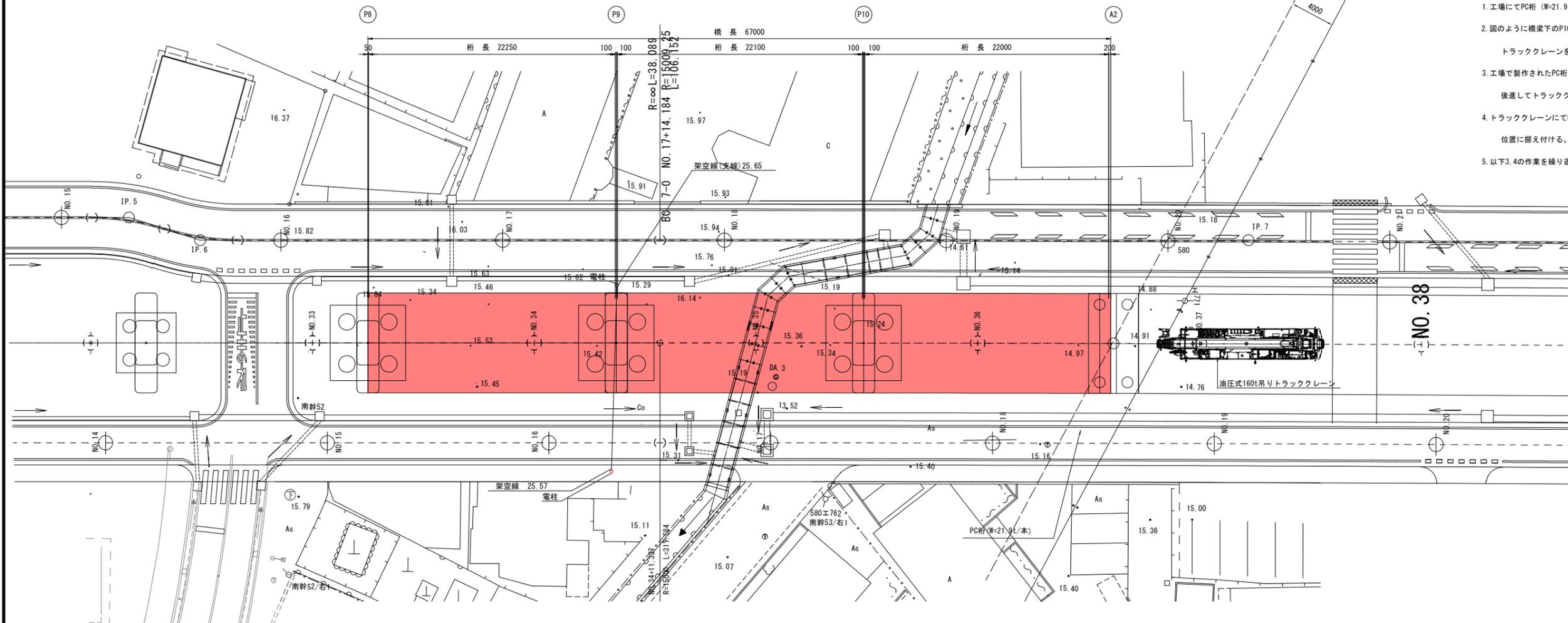


定格総荷重表

(160t吊 油圧式トラッククレーン) (単位: ton)

作業半径 (m)	18.15m ブーム	22.7m ブーム	31.8m ブーム	40.9m ブーム
10.0	62.0	52.6	45.5	37.3
11.0	55.0	47.8	41.4	34.6
12.0	49.0	43.7	37.9	32.1
14.0	41.4	37.1	32.2	28.2
16.0		31.9	27.8	25.0
18.0		27.8	24.4	21.9
20.0			21.4	19.2
22.0			18.9	17.0

平面図 S=1:200



架設要領

1. 現場にてPC桁 (W=21.9 t/本, N=33 本) を製作する。
2. 図のように橋梁下のP10橋脚付近に油圧式160t吊りトラッククレーンを据え付ける。
3. 現場で製作されたPC桁をポルトレラーにて現地まで輸送し、後進してトラッククレーンの作業半径内に据え付ける。
4. トラッククレーンにてPC桁を吊り上げゆっくり回転して所定の位置に据え付ける。
5. 以下3,4の作業を繰り返し、桁架設を行う。